

日商簿記2級合格おめでとうございます。

唐突ですが、**今なら来年8月の税理士試験を目指せます！**

「そんな無茶な…」と、いう声が聞こえてきそうですが、**CMCの日商簿記1級&全経上級ダウンロード講座**を今から始めることで、その道が見えてきます。

では、その税理士試験への道が開ける“ワケ”を見ていきましょう。

講座では、税理士試験まで想定した**定評あるテキスト（中央経済社 簿記講義）**を使用します。内容は難しいですが、講師が噛み砕いて説明しますので、ご安心下さい。

オープン講座 (<http://www.kaikei-soft.net/boki/boki1.html>) や

独学者応援サイト (http://www.kaikei-soft.net/boki/boki1_kozaichiran.html) の無料動画をご確認下さい

まずは税理士試験（財務諸表論）のイメージを確認しましょう。

財務諸表論は3問構成になっています

第1問、第2問：理論問題（各25点）

第3問 計算問題（50点）

合格基準は60点ですが、相対評価（合格率が15~20%）のため、通常は50点前後で合格できる試験です。

どんな問題か確認してみましょう

昨年度（第62回）の試験抜粋

問題1

[損益計算書に関する注記]

期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、13,000百万円の（ ）が営業原価に含まれています

解答：たな卸資産評価損

問題 2

[選択肢より選びなさい]

会計において評価とは、広義には、(イ) を決定する事を指す。

(イ) ①金額 ②勘定 ③期間 ④業績 ⑤方針

解答：①

問題 3

1 現金預金に関する事項

(1)当座預金の帳簿残高△158,600 千円に対し銀行残高の合計は 69,700 千円である。マイナス残高および差額は、A銀行における当座借越契約に基づく借越額 223,000 千円の会計処理未済分とB銀行における小切手の未取付額 5,300 千円（運送費の支払代金）によるものである。

解答：＜借越の振替＞ 現金預金 223,000／短期借入金 223,000

＜未取付小切手＞ 仕訳なし

いかがでしょうか？決して手が出ない問題という感じはしないと思います。

もちろん、日商1級の商業簿記の内容も出題されるので、2級合格直後のみなさんが全てにすぐに対応できる訳ではありません。

ただ、財務諸表論の計算問題は、問題のボリュームが多いだけで、内容はパターン化されており、4～6か月の問題演習で十分に合格圏内に入る事が可能なのです。

2級に通ったばかりで、来年は税理士？とても無理！と思っている方。

下記のスケジュールをこなせるかどうか考えてみて下さい



今日を7月1日とします

CMCの日商簿記1級ダウンロード講座を申し込む

7月1日から9月末日まで

ダウンロード講座（44回×2時間）。1回聞いて、翌日は復習して下さい。

合計88日＝約3か月

（土日も2時間のつもりでいきましょう。無理は禁物です。平日出来なかった分は、土日の空き時間で調整しましょう。たまにはユックリするのも大事です）

10月1日から試験日（11月17日）まで

TAC出版やネットスクール出版などの予想問題集を2回転実施。

合計8回分を2回転すれば十分に圏内に入ります。

この時期からは、土日は4～6時間は勉強に充てて下さい。

11月の試験が終わったら、とりあえず1週間ほどは休憩！リフレッシュ！

11月25日から平成25年2月16日まで

全経の過去問を解きまくります（1日2時間ペース）

ここで理論は強くなります

2月の試験が終わったら、やっぱり1週間は休憩

6月の日商1級への再チャレンジの方は、1級の問題演習

税理士試験の受験資格ある方は市販の問題集で財務諸表論の問題演習

2月の試験発表は4月の後半です

ここからは税理士試験の受験資格があるという前提で話をすすめます

(日商1級の学習範囲と税理士試験(財務諸表論)の範囲はほぼ同じです)

GW明けまでは

市販の過去問題集等(約2,000~3,000円)を購入して、問題を解きまくりませう。

各校でGW明けから、以下のような税理士直前講座がはじまります

参考1) 専門学校(TAC・大原等)の税理士直前答練を申し込みませう

(平成25年の例:TAC19回68,000円、大原24回76,000円)

参考2) 模擬試験パック

(平成25年の例:TAC模試+ファイナルチェック問題で全3回4,000円、大原9回30,000円)

推奨はTACと大原の模擬試験パックで合計34,000円で受験が望ましいと思ひませう。

いかがですか?もちろんご本人の努力が必要なことは大前提ですが、不可能なスケジュールではないことが、おわかり頂けるかと思ひませう。

さあ、CMCの「日商簿記1級・全経簿記上級ダウンロード講座」で、今から来年8月の税理士試験に合格に向けて、一緒にがんばりませう!!

税理士試験の受験資格

大学、短大又は高等専門学校を卒業した者で右欄のいずれかに該当する者

法律学又は経済学を主たる履修科目とする学部(法学部、経済学部、商学部、経営学部)・学科・学校を卒業した者

上記以外の学部(文学部、工学部など)・学科・学校を卒業した者で、法律学又は経済学に属する科目を1科目以上履修した者

日本商工会議所主催簿記検定試験1級合格者

社団法人全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級合格者
(昭和58年度以降の合格者に限る。)

詳しくは下記で確認下さい

<http://www.nta.go.jp/sonota/zeirishi/zeirishishiken/qa/qa03.htm>

お問い合わせは 0120-841-244 (弥生にしよう)